

施策番号	施策名	安心生活プロジェクト	基本的方向	誰もが健康で自分らしく笑顔で安心して暮らせるまちをつくる		
			基本目標	ひとが集い、誰もが安心して暮らすことができる魅力的なまちづくり		
4-1	主管課	政策推進課	課長名	有澤勝昭	内線	213
	施策関係課	高齢者支援課・健康福祉課・総務課・環境土木課・魅力創造課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針	対象	意図	結果						
性別、年齢、障がいの有無に関わらず、誰もが健康で個性と能力を十分に発揮でき、安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の充実や防災・交通安全等の安全・安心の確保、住民同士が地域で自立した生活を続けるためのコミュニティづくり、安定した行政サービスを提供するための公共施設等の管理などを進める。また、広域的な連携によりサービスの向上や新たなサービスの向上や新たなサービスの提供を目指す	地域住民	・住み慣れた地域で安心して暮らせるようにする。 ・住民同士が支えあう体制ができています。	人口減少を最低限に留め、住み慣れた地域で安心して住み続けられる。						
重要業績評価指標(KPI)	説明	単位	策定時(基準値)	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2024年度(目標)
① 芽室町の福祉サービスに満足している高齢者の割合	住民意識調査	%	77.5	72.3	66.6	65.6	65.9	75.0	81.8
② 住んでいる地域は、住民同士支え合う体制ができていると思う町民の割合	住民意識調査	%	57.1	58.1	60.7	59.1	52.6	57.8	80.0
③ 地域の活動に参加している町民の割合	住民意識調査	%	45.7	40.0	38.8	40.2	43.6	44.6	55.0
評価指標設定の考え方	①～③総合計画後期実施計画の目標と同じ目標を設定。段階的に引上げを目指すもの。								

2. 施策の事業費

	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算	2023年度決算	2024年度決算
施策事業費(千円)	283,772	121,725	118,179	133,107	126,379
人工数(業務量)	3,3431	3,9494	2,7016		

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2024年度の成果評価(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	全ての指標で上昇したことから、成果は向上したと判断する。
②第2期芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	コロナ禍においては、特に、①と③の指標が減少したが、昨年度は、概ね策定時の数値に戻ったものの、目標値には到達できなかった。特に、「住んでいる地域は、住民同士支え合う体制ができていると思う町民の割合」は、目標値までの乖離が大きく、トータルとしても目標は達成できなかったと判断する。
(2) 施策の成果評価に対する第2期芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	障がい者就労支援事業 地域防災対策事業 地域公共交通確保対策事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・障害者就労支援事業では、14名を会計年度任用職員として採用し、職場実習を行った。また、就労支援事業所等から、4名が一般就労を達成した。 ・地域防災対策事業では、各種防災訓練を災害協定を締結している企業や団体と連携を図り参加者が主体となる訓練を実施した。また、令和6年度は避難所開設訓練未経験の3地域で訓練を行い、町内全域で避難所運営経験とした。 ・地域公共交通確保対策事業では、「じゃがバス」について、町内イベントとタイアップするなど、利用促進に向けて制度周知のPRを実施した。1便当たりの平均乗車人数の目標を10人としているが、コロナ以前の9人程度に戻った。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(総合戦略策定時との比較)

担当課 評価	KPIとしての成果は表れていないが、「施策の方針」に沿って様々な取り組みを進めており、前進したと判断する。	進捗結果	A	B	C	D	E
							○

A:実現した B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C:(総合戦略策定時と比較して)前進した
D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(総合戦略策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般就労定着支援により一般就労への移行が促進している。 自助・共助・公助を基本とした、地域実情に適した防災体制の整備と確立が、喫緊かつ重要な課題となっている。 高齢者などの交通弱者に対する公共交通の継続的な確保が課題となっている。 人口減少が進むなかで、住民自治の重要性はますます高くなっているが、地域活動や集団活動を好まない人たちも増えている。 <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働力不足が深刻な中で、企業側の障がい者雇用に対するニーズも増加が見込まれる。 また、この労働力不足は、特に、公共交通においては喫緊の課題となることが想定される。 自然災害は台風10号災害、北海道胆振東部地震、能登半島地震など全国各地で大規模な災害が発生しており、今後も発生が見込まれる。 コロナ禍をきっかけに集団活動を避け、個人活動を好む傾向が強まることが想定される。
-----------------	---

この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<ul style="list-style-type: none"> 町内会未加入者対策を強化すべきとの意見がある。 →町、市街地町内会連合会、単位町内会、それぞれの役割、立場を明確にし、町のできる支援を行っていく。
--	--

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> 障害者就労支援では、就労支援機能を付加した地域活動支援センターの取り組みを継続し、機能強化・拡大を図ると共に、地域おこし協力隊を中心に、自立生活や一般就労を目指す方への支援を推進する。 地域防災対策では、「自助・共助」の重要性を確認するべく「水害想定訓練」、「地震想定訓練」、「冬の避難体験」を実施し、地域住民の防災意識の向上に向け、参加者が主体となる訓練を実施する。 地域公共交通確保対策では、「じゃがバス」などの現在の公共交通を補完する「乗合タクシーなど」の新たな交通手段について、引き続き、調査研究を進める。 地域コミュニティ、住民活動の活性化のため、公民館の町民活動支援センター内に設置した活動拠点の充実を図る。

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	重要業績評価指標等から、前進したと評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
						○	

A:実現した B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C:(総合戦略策定時と比較して)前進した
D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(総合戦略策定時と比較して)後退した

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価同様に前進したと評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
						○	

A:実現した B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C:(総合戦略策定時と比較して)前進した
D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(総合戦略策定時と比較して)後退した

今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 基礎である町内会を考えていかななくてはならない。 地域運営組織を役場には応援して欲しい。
-------------	---